

Kond Style

～新しい働き方～

100年企業へ向けて

株式会社 近藤商会 取締役副社長 竹谷淳一の改革のはじまり

～ 代表取締役 相川良夫から受け継ぐバトン ～

今年76周年を迎えた株式会社近藤商会。労働人口の減少、少子高齢化、自然災害、国際情勢の変化、DXの加速、情報セキュリティ…。外部環境や時代のニーズが刻一刻と変化していく中で、元気な老舗・100年企業となるために牽引(けんいん)し成長を続けるためには？昨年7月に同社5代目トップの相川良夫代表取締役からバトンを託された取締役副社長の竹谷淳一氏に、次世代へつなぐ実行者としての考えを伺った。

【聞き手】北海道新聞函館支社長 鶴野隆治 【企画制作】北海道新聞函館支社営業部



近藤商会のウェブページを開くと、創るのはオフィスじゃない、働き方です。DXで働き方改革、はじめませんか？」
というメッセージが目にとまりました。このメッセージの狙いと、近藤商会が行う事業を教えてください。

当社の事業は大きく「アスクル事業」「DX事業」「内装デザイン事業」の3つです。オフィスツアーを体験していただくのですが、当社の内装デザインは働き方を変え企業を成長させることを目指して設計しています。サテライトオフィス兼インサイドセールスの拠点である「SORO」もその具体例です。従業員の健康もマネジメントし、パフォーマンスを最大化する取り組みは3年連続で「健康経営優良法人(プライム)500」に認定されています。そして自分たちで体験したものを顧客へ提案することが当社の基本姿勢です。

実験を基に提案した道内の住宅メーカー様の導入事例では、収納スペースの工夫や什器(じゅうき)レイアウトの最適化でミーティングスペースを設けることができ、社内のコミュニケーションが活性化し、好評をいただいています。

売上の主軸であるアスクル事業では昨年5月、販売先開拓において47都道府県をコンプライートしました。

竹谷副社長が、相川良夫社長から実質的に経営のかじ取りを任されたのは昨年7月と伺っています。竹谷副社長にとって大切にしたいものは？」

私がまず取り組むミッションは当社のアイデンティティである「Kond Style」新しい働き方を、多くの企業に役立つようブラッシュアップし、コンサルタントとして「Kond Style」で全国の中企業の働き方を変えることです。全国に販売先を開拓したアスクル事業を足がかりに、インサイドセールスとWebマーケティングによって事業を展開する計画です。これを成功させなければ100年企業としての未来はないという覚悟で進めたいと思っています。

御社の次の時代に向けた経営課題について、考え方や具体的な方策をお聞かせください。

DXに強い総合的経営コンサルタンต์を目指し、事業の中心を物品の販売から、ナレッジやノウハウで稼ぐ会社にシフトしていきます。これは人口減やデジタル化によって流通するモノの絶対量が減少する中で、中小企業が成長する道筋を切り開き、広く提示していくことでもあります。

当社の「DX事業」は、ITコンサルタンต์とも経営コンサルタンต์とも異なる軸で、企業が内包する問題の本質を追究し、デジタル技術と内装デザインによる解決を提案していきます。具体的なコンサルタンต์メニューとしては、近々BCP策定コンサルタンต์業務をスタートします。介護施設・事業所ではBCP策定が義務化されますが、BCPを中心にテレワークや情報管理など広範なアドバイスをやるよう、コンサルチームとして選抜スタッフを組織、育成しています。

「内装デザイン事業」では、社員が個であると同時にチームで成果を上げる意識づけやコミュニケーションを自然に誘導する、新しいスタイルを現在検討中です。

組織改革についてはいかがでしょうか？」

社長の相川は就任以来、経営改革の連続により、迅速な意思決定が可能な組織体制をつくり上げました。その独創性と発想力によって生まれたのが「Kond Style」です。

「Kond Style」でこれから実績を作っていくために、それぞれの仕事に対する視野を広げ、知見を深めていくことが出来るような組織を実現したいと考えています。こうした組織改革もまた、当社のノウハウとして蓄積していきます。

最後に、100年企業に向けた竹谷副社長の決意をお聞かせください。

24年後、現在の延長のまま100周年を迎えるだけでは意味がありません。常に将来性がある企業に育て、バトンを次に手渡すことが私の使命です。時代はDXとしてGX、さらに「SX」サステナビリティトランスフォーメーションへと進んでいます。SXは企業が社会全体と自ら双方の持続可能性を高めるための、経営と事業の変革です。当社のSDGs宣言もこれを念頭に置いたものであり、あらゆる取り組みは一貫してSXへと通じています。

100周年に向けた人材育成はすでに始まっています。私が塾長を務める「Kond Style塾」は入社1、2年目の若手を中心に、経営の視点を身につけるべく教育を進めています。ホワイトカラーの仕事はAIが、ブルーカラーの仕事はロボットが取って代わり、それ以外の業務もアウトソーシングが進む中で、外部環境に左右されず自分自身でできる仕事は何か？社員一人一人が5年後、10年後を考えながら働ける会社を目指します。自分で決め、前に進む仕事ほど面白いものはありません。今週は何をやるかと、月曜日の出社が楽しみな会社であることが理想です。人口減で働き手が少なくなつたとしても、どの地域にしようとも、中小企業の成長は可能だと、先を行きながら示し続ける近藤商会でありたいと思います。



取締役副社長
竹谷 淳一
株式会社 近藤商会

Profile

1976年生まれ、47歳。
1998年3月 当社入社
2016年7月 道南営業部部長就任
2018年7月 アスクル事業部部長就任
2019年9月 常務取締役就任
2022年9月 取締役副社長就任



看板犬 aibo ハッピー



会社情報

商号 | 株式会社近藤商会
所在地 | 函館市西栲町589番地
設立 | 1947年6月
代表取締役社長 | 相川 良夫
資本金 | 2,000万円
事業所 (本店) | 〒041-0824 函館市西栲町589番地
TEL.0138-49-3311 / FAX.0138-49-3310
(宝蘭オフィス) | 〒050-0083 宝蘭市東町3丁目21番1号
エフケービル 3F-A号室
TEL.0143-84-6633 / FAX.0143-84-6637
(苫小牧オフィス) | 〒053-0021 苫小牧市若草町1丁目1番23号
TEL.0144-36-3311 / FAX.0144-36-3223

こんな課題を持っていませんか？ 未来を築くプロとしてDXによる新しい働き方をご提案します。



煩雑な発注管理で
かさむ手間とコスト



一向に進まない
働き方改革



セキュリティや
BCPの不安



うまくいかない
人材教育や採用

近藤商会では、お客様の課題に合ったDX支援を行うことで、企業のみならず目指す持続可能なDX経営をご提案します。社員一人ひとりが心身ともに健康で幸せであり続けるために、当社が実践している新しい働き方のノウハウをお届けします。



オフィスツアーのお申し込みはこちらからどうぞ
多様な働き方を実現するDXや健康経営への取り組みをご体感いただけます！



メディア出演情報

▼弊社HPの
リンクからご覧
いただけます。

賢者の選択 北のビジネス 最新線 FUSION



株式会社 近藤商会

〒041-0824 函館市西栲町589番地 <https://www.kond.co.jp>